

事務事業名	(H24拡充) 榊山アヤマ保全対策事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6212				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みどり自然課	課長名	杉山啓子				
			所属担当	自然保護推進	担当者名	廣瀬和弘				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよひあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 02	目 01	細目 020	細々目 03
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	32	自然と共生する地域づくり								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)			法令根拠	榊山アヤマ保全対策調査検討会設置要綱					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
	榊山アヤマ平及び裸山のアヤマが全滅状態となり原因調査のための調査検討委員会を設置し、野生動物による食害防止ネットの設置や生育状況の調査と、植物・動物の希少種保護を図る			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
							計 0			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	山梨県アヤマ保護対策補助金を受けて、アヤマ平に食害防止ネットを設置し、既存の食害防止ネット内でのアヤマの復原、植生調査を行う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	25年度活動予定				ア:現地調査	回数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	山梨県自然記念物「榊山アヤマ平及び裸山のアヤマ群落」		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:保護柵の設置	m
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	アヤマの激減による原因を調査するため、保護柵を設置し、柵の外と中の状況調査を行い生育状況調査を行う		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:保護柵内のアヤマの開花	本数
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	榊山のアヤマも含めた生物多様性の環境保全を図る。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:自然環境の復元	m

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	30	3,730	30	30			
		地芳債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	854	6,598	2,614	329			
	事業費計(A)	千円	884	10,328	2,644	359	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2			
		延べ業務時間	時間	250	280	280	280			
		人件費計(B)	千円	991	1,109	1,109	1,109	0	0	0
		(A)+(B)	千円	1,875	11,437	3,753	1,468	0	0	0
活動指標		ア:回数	回数	8.0	10.0	10.0	10.0			
対象指標	ア:m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4,550.0	71,338.0	71,338.0	71,338.0				
成果指標	ア:本数	本数	30.0	60.0	120.0	240.0				
上位成果指標	ア:m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	30.0	60.0	120.0	240.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年頃より裸山及びアヤマ平のアヤマ等の植物が激減し絶滅状況になり原因等を調査し、鹿の食害等による被害が多く見られるため、食害防止ネット(保護柵)を設置し、状況調査を行う事とした。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成19年度より数箇所、食害防止ネット(保護柵)を設置し、状況調査を継続してきたところ保護柵内と外の状況が明らかに変わって、アヤマの開花も確認でき、今後はネットの維持管理と調査を続ける。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	平成21年度にセンサーカメラを設置し、シカの食害が確認出来た事を受け、シカの捕獲等の要望が多くある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	柵内での多種調査(調査用防護柵内を区切りアヤマ以外の草花を放置する所、刈り取る所、抜根する所等)に分けて状況調査)
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	防護柵の設置協力。榊山アヤマ保全対策調査検討会の開催、現地調査、食害防止ネットの保守点検、調査報告書の作成、24年度食害防止ネット設置予定のための測量。また住民周知のための榊山シンポジウムの開催。

事務事業名	(H24拡充) 楡形山アヤマ保全対策事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	----------------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 自然と共生する地域づくりと題して必要な保全対策を講じていく事が文章化されている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 民間やNPOへの作業を委ねる事は出来るが予算は市が負担する事なる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 保護柵の中には植物の生育が順調であるため、さらに設置ヶ所を増やし、継続して維持管理する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 保護柵の設置で、アヤマ開花の確認ができたので、今後は、食害を防止することでなお一層の開花が見込める。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 平成19年度から進めてきた保護柵設置に伴う調査活動により、その成果が立証された。 防護柵設置、現地調査を実施してアヤマの保全を継続しないと激減してしまう。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 アヤマ群落を復元するためには、保護柵の面積拡充と維持管理が必要となるため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 保護柵の面積拡充に伴う巡視体制や引き続き設置する保護柵のなかの調査のため人件費が必要。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 自然環境の保全によるアヤマの復活が目的のため、市民に公正・公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	アヤマの保全対策については、平成19年に楡形アヤマ保全対策調査検討会を立ち上げ、学術的な調査を3年間に渡り行ってきた。その結果を、平成24年3月に楡形山アヤマ保全対策調査報告書を取りまとめた。アヤマの消滅の原因究明とその対策について、平成23年6月に楡形山シンポジウムを開催し、市民に情報の公開とその対策に対する合意形成を図ることを目的に開催した。なお、アヤマ消滅の原因は、シカの食害及び気候変動が起因していると推測され、平成24年度には、県補助金を活用して、さらに6,600㎡の防護柵の拡充を図り、保全対策を進めていく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について アヤマ保全対策調査検討会での調査、楡形山ネットワークのボランティアによる防護柵の設置、草刈り等その活動が大幅に県補助金を獲得するまでに至った。今後は広範囲に防護柵を設置するとともに、その維持管理を行うとともに、新たに設置した柵内での植生調査や草刈り作業など保全対策を引き続き進める。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 特になし	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	③	コスト削減優先度評価結果	④																	
成果優先度評価結果	③																					
コスト削減優先度評価結果	④																					